

— 春季限定 —

じぼう
春の地貌季語俳句を募集します！

毎月の季語に加えて、2020年3月まで2つの季語を追加します。
皆様の投句をお待ちしています！

阿蘇野焼（あそのやき）

阿蘇野焼^ほ焰は白日の空に舞ひ

石原八束

阿蘇の野焼きは三月の彼岸前後に行われます。冬枯れの原野に火を放つことで害虫を駆除し、牛馬の飼料になる豊かな牧草を確保する春先の支度です。野火が猛り狂うさまは火の海に怒涛が逆巻くごとし。壮観です。

木の根明く（きのねあく）

木の根明くなり草の根も明きにけり

宮坂やよい

“木の根明く”とは、山や森の木の根元から雪が消え始めることを表現したことばです。雪国では、本格的な雪解けが始まる前触れのように、山毛櫨や^{ぶな}櫨^{くぬぎ}などの木の根元に積もっていた雪が、丸くドーナツ型に溶け始めます。それは、木の導管がこくこくと水を吸い上げ、活動を始めている兆しです。北海道や東北では「雪根開き」、「根開き」、「木の根開き」、北陸や信州では「木の根明く」、「根明き」とも言います。